



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2023年2月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2023年1月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回る。

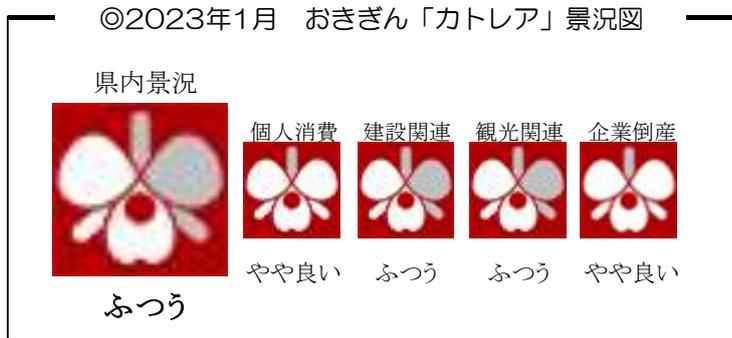
☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2023年1月分)



◎ 概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。

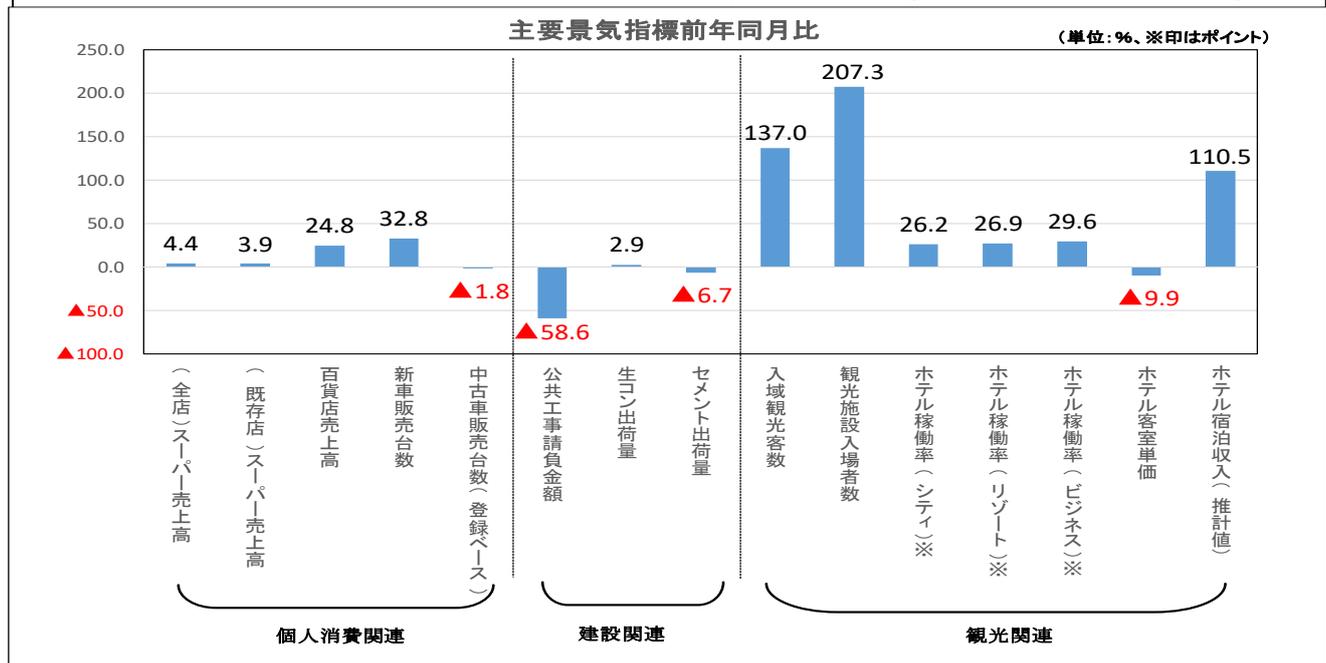
1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月を上回り、中古車販売台数は前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)においては前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。観光関連は、全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加などから回復しつつあります。建設関連は、民間工事に持ち直しがみられるものの、弱い動きが続いています。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある」と景気判断を据え置きました。

(2022年11月の上方修正から3か月連続で判断維持)



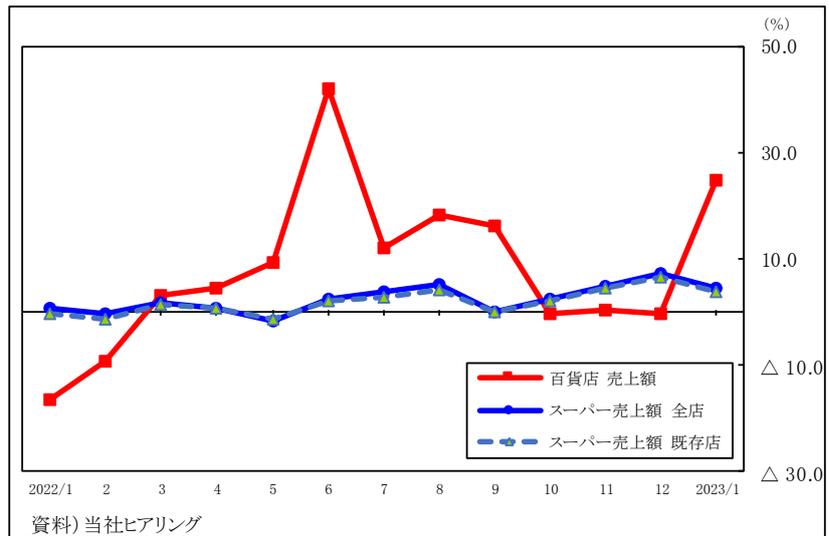


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2
6	2.6	2.1	42.1
7	3.9	2.9	12.0
8	5.3	4.2	18.4
9	0.2	0.1	16.3
10	2.6	2.2	△ 0.3
11	5.0	4.6	0.4
12	7.2	6.5	△ 0.3
2023/1	4.4	3.9	24.8



注) 前年同月比

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 4.4%増)」は、8ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 4.0%増)」、「家庭用品(同 5.0%増)」は行動制限がなかったことによる来客数の増加、年始関連等の季節商品の売り上げ伸長や一部物価高の影響などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同 20.1%増)」は来客数の増加や下旬に気温が下がったことによる冬物衣料の販売好調などにより前年同月を上回りました。

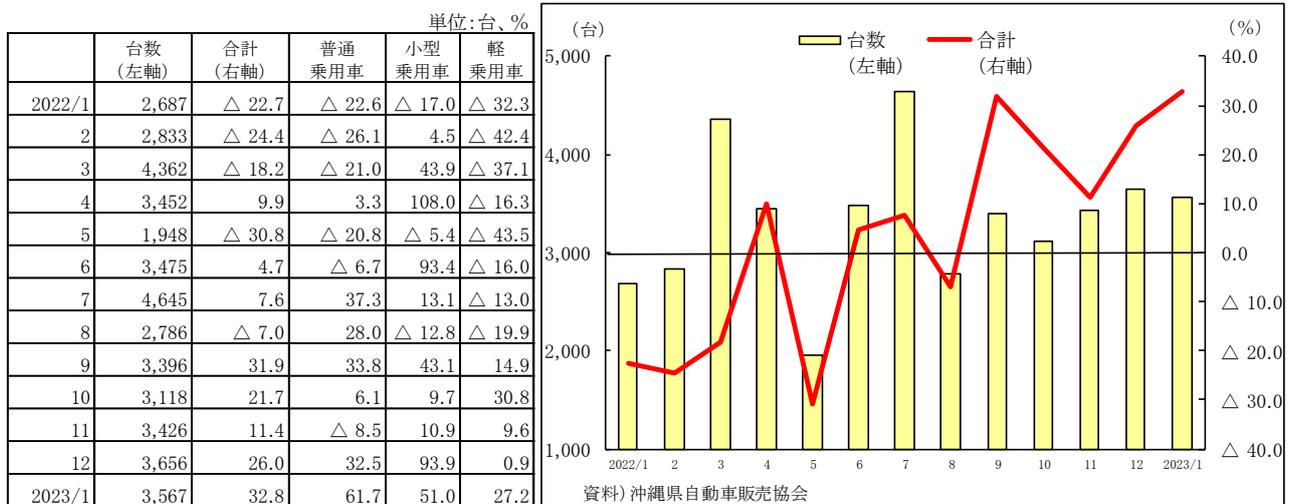
「既存店ベース(同 3.9%増)」は、8ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 3.1%増)」、「家庭用品(同 3.6%増)」はインバウンドを含む来客数の増加や季節商品の好調、物価高騰の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 20.3%増)」は来客数の増加や天候要因などにより、前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の 2019 年同月比では、10.6%増となりました。

百貨店売上高は、前年同月のまん延防止等重点措置の反動や年始の初商の好調などにより前年同月を上回りました(同 24.8%増)。品目別では、「衣料品(同 31.3%増)」、「身廻品(同 20.8%増)」は前年同月の反動やインバウンド売り上げの増加などにより前年同月を上回りました。「食料品(同 20.6%増)」は土産品の好調などにより前年同月を上回りました。全体としては2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の 2019 年同月比では、全体で 40.9%減となりました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。



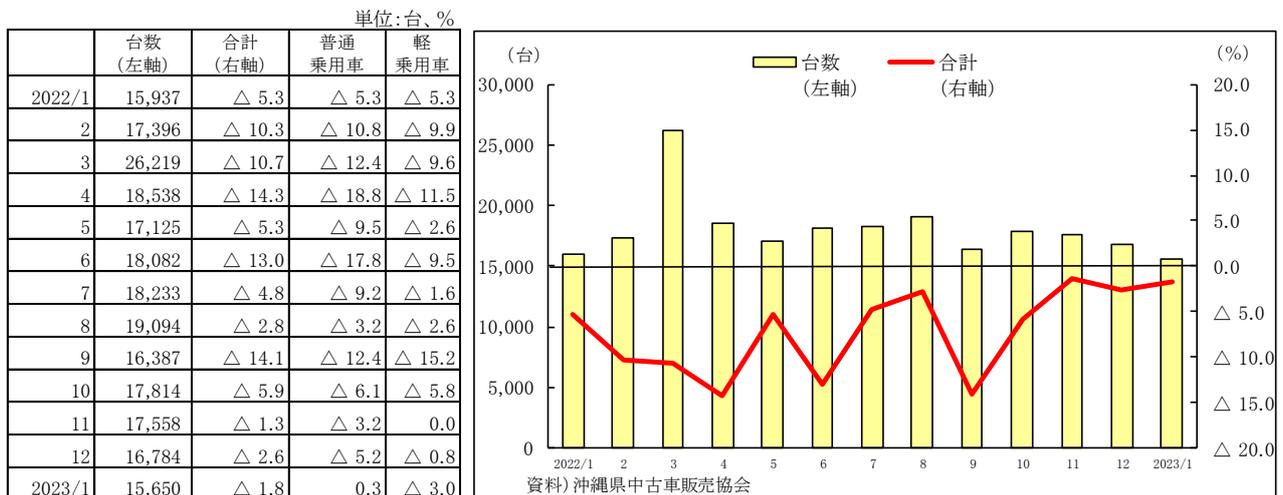
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,567台(同32.8%増)となり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同61.7%増)」、「小型乗用車(同51.0%増)」、「軽乗用車(同27.2%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることやレンタカー台数の増加などにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で0.2%減となりました。車種別では、普通乗用車42.4%増、小型乗用車6.7%増、軽乗用車17.6%減となっています。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。



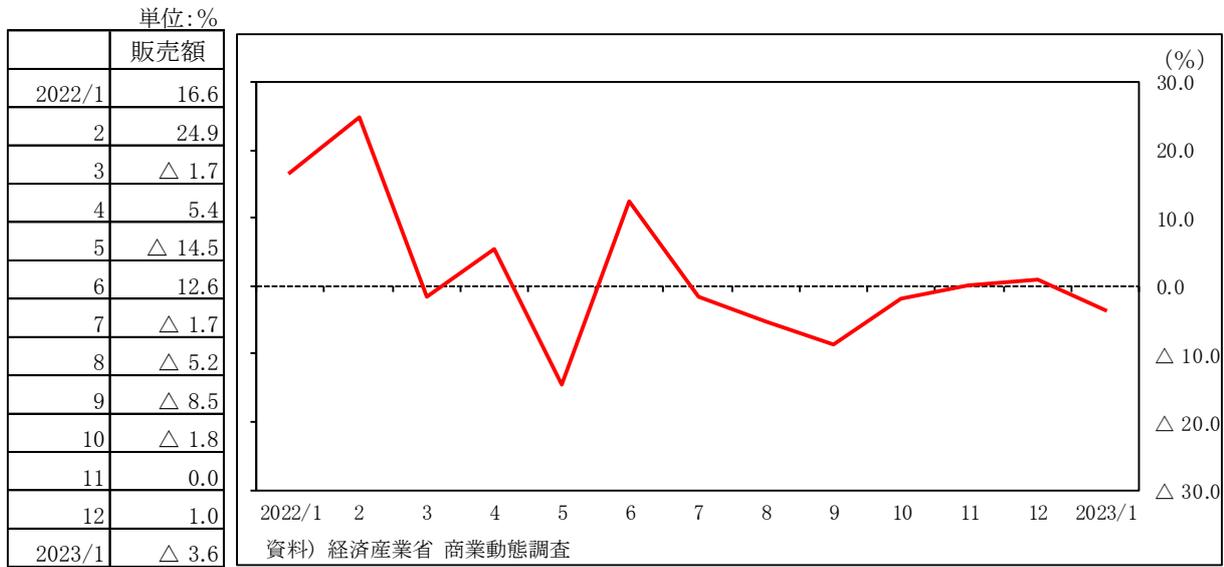
注) 前年同月比

注) 登録ベース

**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で15,650台(同1.8%減)となり、16ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同0.3%増)」は前年同月を上回りました。「軽自動車(同3.0%減)」は市場の供給減少に伴う価格高騰などにより、前年同月を下回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で3.1%減となり、車種別では乗用車4.9%減、軽自動車1.9%減となりました。

④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。



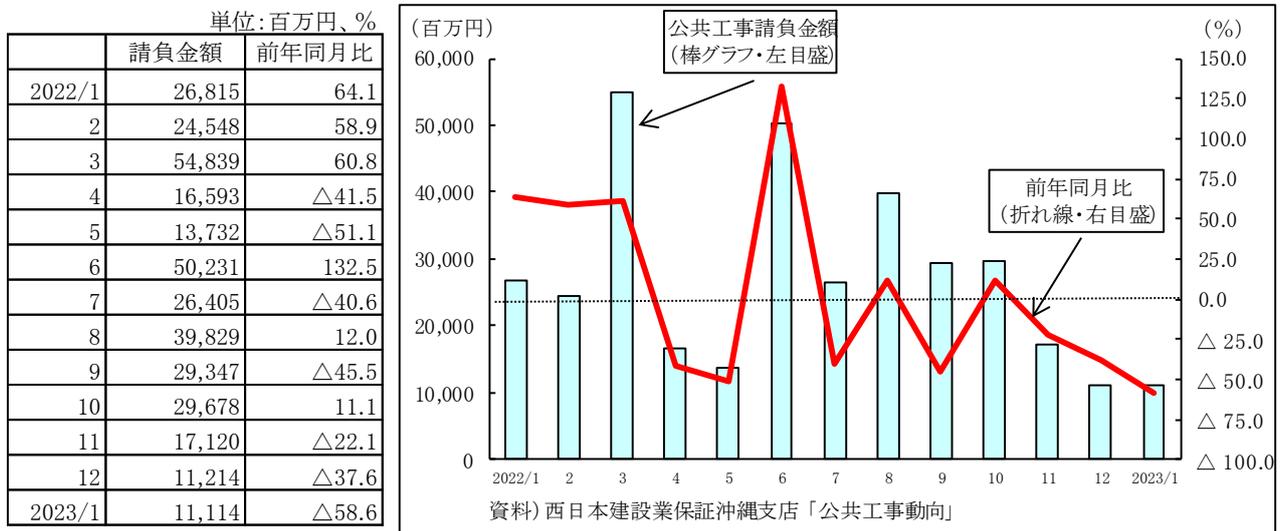
注) 前年同月比

1月の大型家電専門店販売額は前年同月を下回りました。

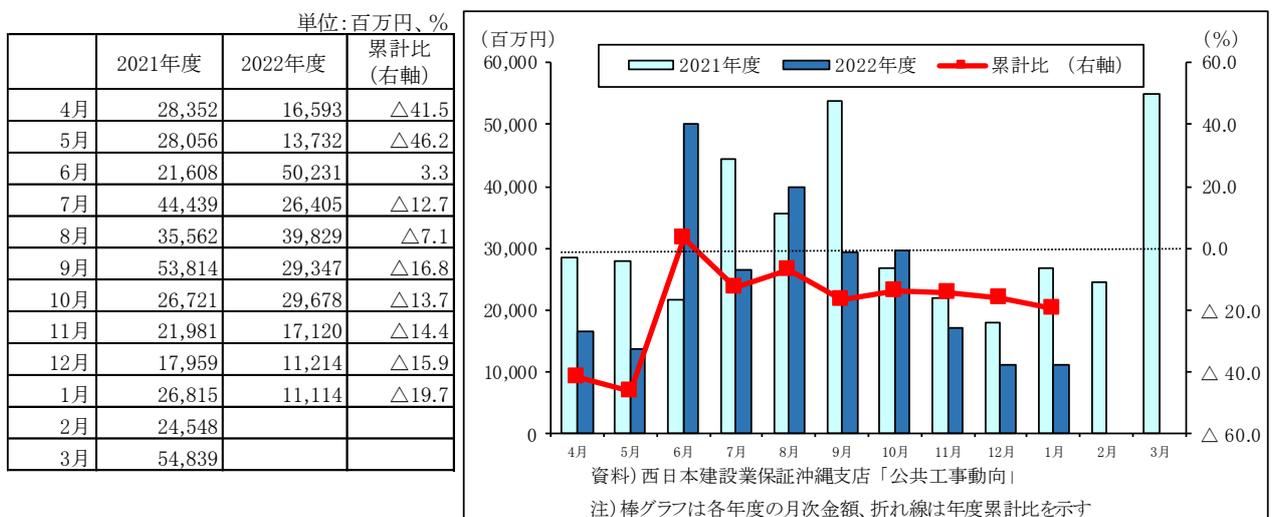


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



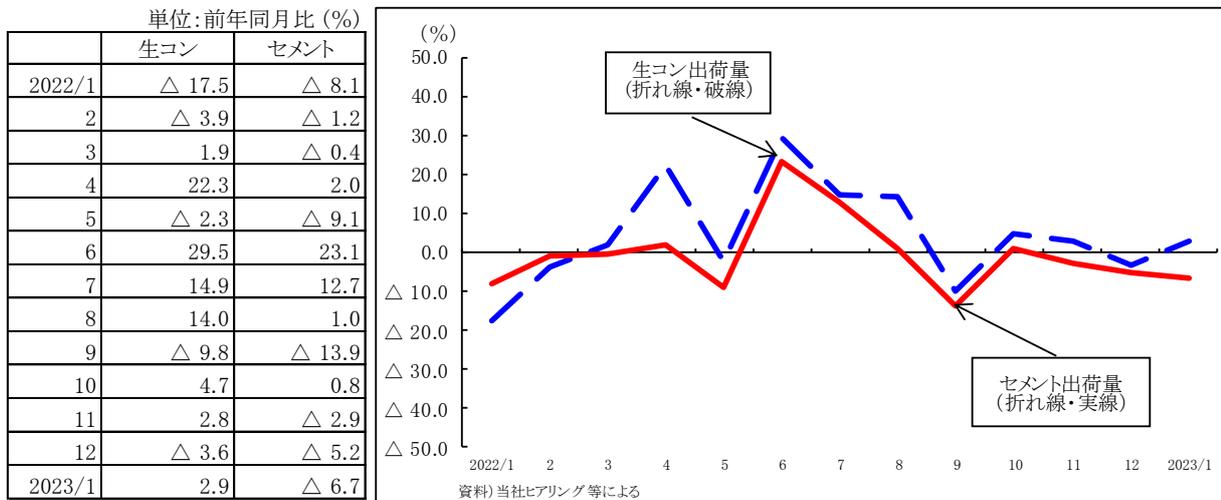
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



1月の公共工事請負金額は、前年同月比 58.6%減の 111 億 1,400 万円となりました(3ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「国(76.5%減)」、「市町村(同 39.0%減)」、「沖縄県(同 52.4%減)」、「独立行政法人等」は前年同月を下回りました。一方、「その他(同 76.4%増)」は前年同月を上回りました。

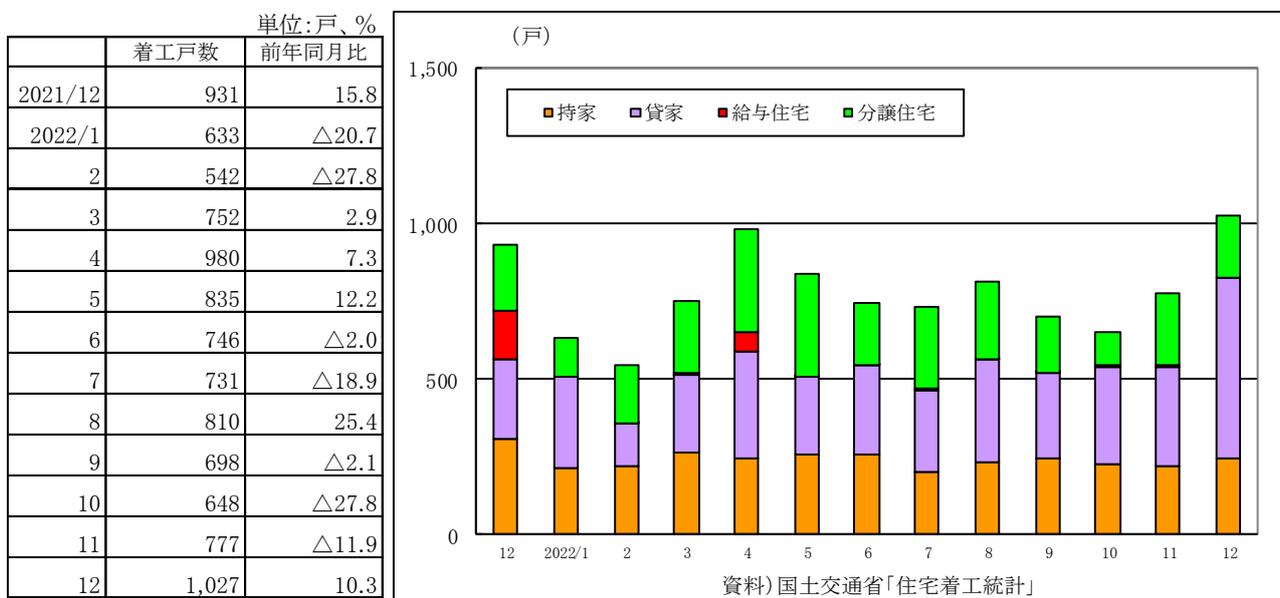
②建設資材・・・生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

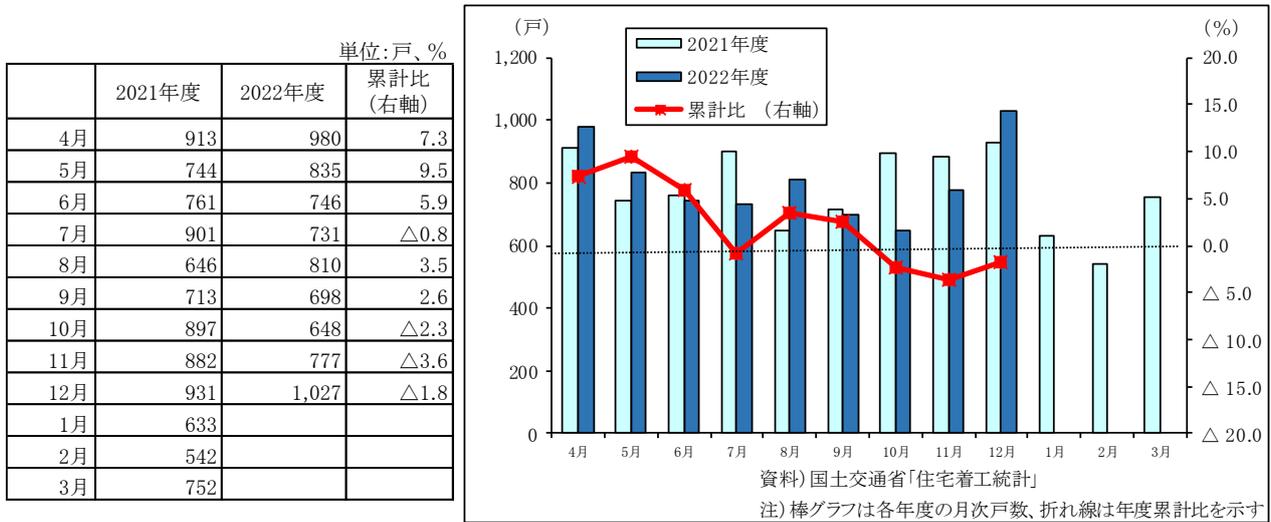
建設資材関連では、生コンの出荷量は 2.9%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは北部での出荷が減少したことなどから前年同月を 2.5%下回り、民間工事向けは中南部、石垣での出荷が増加したことなどから前年同月を 6.5%上回りました。セメント出荷量は 6.7%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(12月)・・・着工戸数は前年同月を上回る。



12月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 10.3%増の 1,027 戸となり、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同 121.1%増)」は前年同月を上回りました。一方、「給与住宅(同 100.0%減)」、「持家(同 18.8%減)」、「分譲住宅(同 4.2%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

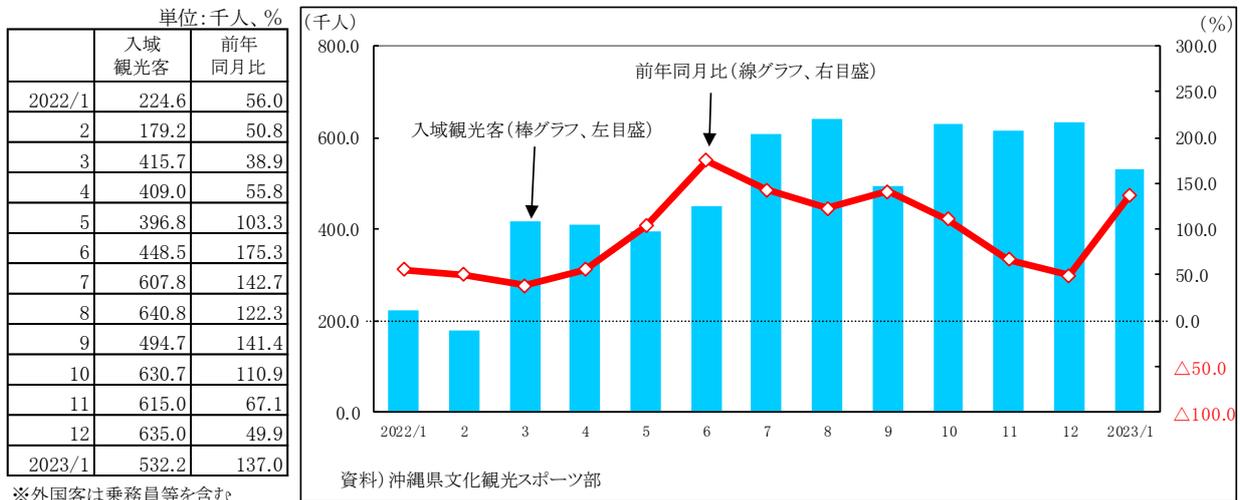


今年度累計値では、1.8%減となっています。



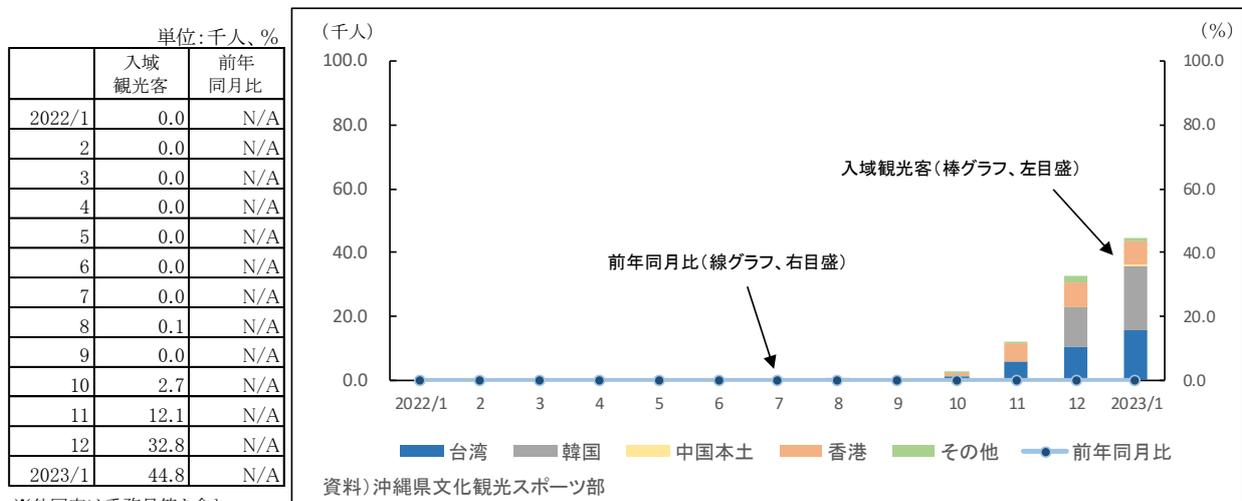
■観光関連： (ふつう)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・44,800人となる。



※外国客は乗務員等を含む

1月の入域観光客数は、行動制限がなかったことに加え、全国旅行支援の実施や年始の増便の影響などから、307,600人多い532,200人(前年同月比137.0%増)となり、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、195,600人減少(26.9%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、46,900人減少(8.8%減)となっています。

外国客入域観光客数は、台湾や香港、韓国路線の運行継続などにより、44,800人となりました(台湾15,900人、韓国20,000人、中国本土200人、香港7,200人、その他1,500人)。今後も各路線の運航再開や増便などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

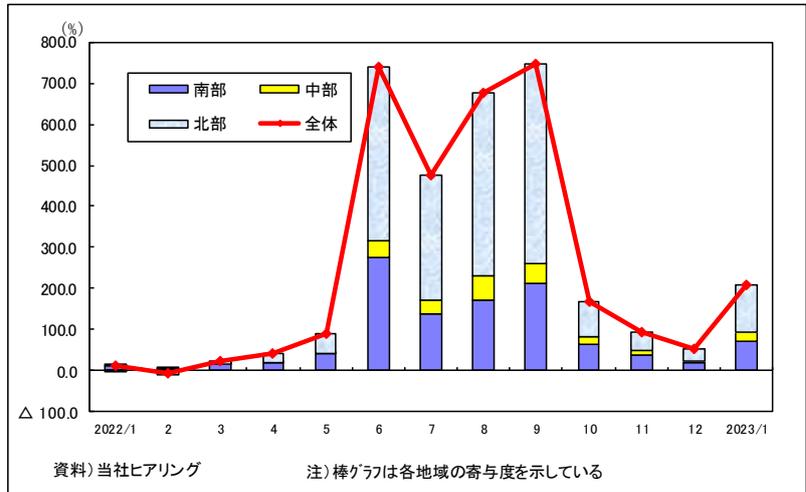
## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2022/1	11.6	42.7	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7
3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5
6	738.2	1,132.3	472.1	629.3
7	475.9	460.8	479.3	482.7
8	675.0	373.7	519.5	1,039.8
9	747.4	510.6	559.3	978.8
10	168.8	237.0	179.0	137.6
11	92.2	108.9	70.5	85.1
12	54.3	59.0	19.6	61.9
2023/1	207.3	220.6	164.5	210.3

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



1月の観光施設入場者数は、前年は1月9日より「まん延防止等重点措置」の適用に伴う行動制限があったことや、全国旅行支援の実施などから、全体では207.3%増となり11ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は210.3%増、南部は220.6%増、中部は164.5%増となりました。

(参考)2019年同月比では、団体客の減少や2次交通の不足などから、全体で46.1%の減少となりました。

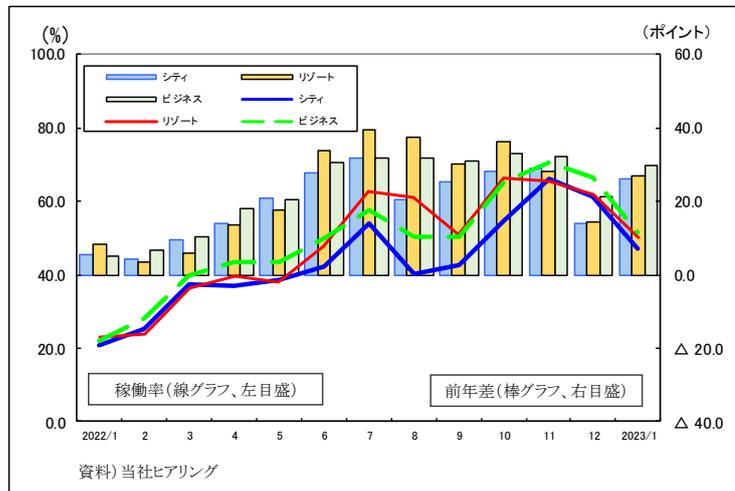
内訳では北部の観光施設は36.0%減少、南部は57.0%の減少、中部は47.4%の減少となっています。

### ③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2022/1	20.8	23.2	22.0	5.6	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2
4	36.8	39.8	43.5	13.8	13.4	18.0
5	38.6	37.9	43.3	20.7	17.6	20.6
6	42.1	47.5	49.9	27.6	33.9	30.6
7	53.9	62.5	57.5	31.8	39.5	31.6
8	40.2	61.1	50.3	20.4	37.6	31.6
9	42.7	51.1	50.2	25.1	30.3	31.0
10	54.9	66.2	65.3	28.1	36.0	33.1
11	66.0	65.6	70.7	28.9	28.3	32.0
12	61.2	61.8	66.4	13.8	14.3	21.3
2023/1	47.0	50.1	51.6	26.2	26.9	29.6

注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



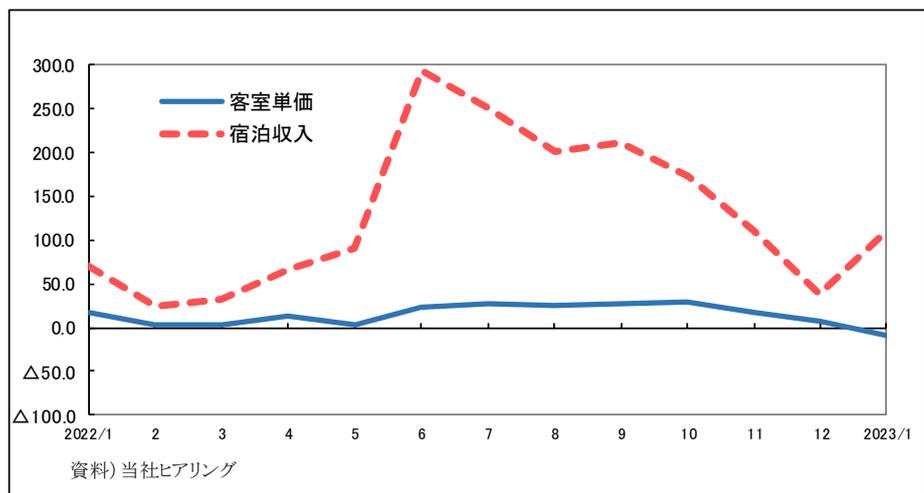
**県内ホテル稼働率**は、シティホテルは前年同月比26.2ポイント増加、リゾートホテルは26.9ポイント増加、ビジネスホテルは29.6ポイント増加しました。全国旅行支援の実施(10日宿泊分から)や外国人観光客の増加などから、前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、シティホテルは30.7ポイントの減少、リゾートホテルは19.1ポイントの減少、ビジネスホテルは18.4ポイントの減少となっています。

### ④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2022/1	17.0	70.1
2	2.9	24.1
3	2.3	31.6
4	14.1	66.2
5	3.4	91.2
6	24.1	293.8
7	27.7	251.1
8	24.7	201.3
9	26.5	211.9
10	30.1	173.2
11	16.4	110.8
12	7.4	37.7
2023/1	△9.9	110.5



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は9.9%減と14ヵ月ぶりに前年同月を下回り、**宿泊収入**においては110.5%増と14ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、客室単価は10.6%の上昇、客室収入は13.2%の減少となっています。

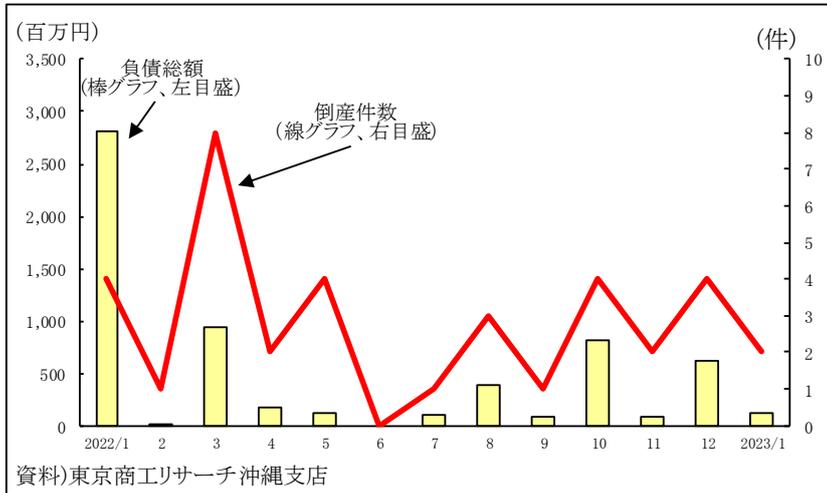


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8
4	170	2
5	120	4
6	0	0
7	94	1
8	381	3
9	83	1
10	816	4
11	75	2
12	617	4
2023/1	128	2



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

1月の企業倒産件数は2件となり、前年同月より50.0%下回りました。

負債総額は1億2,800万円となり、前年同月より95.5%下回りました。

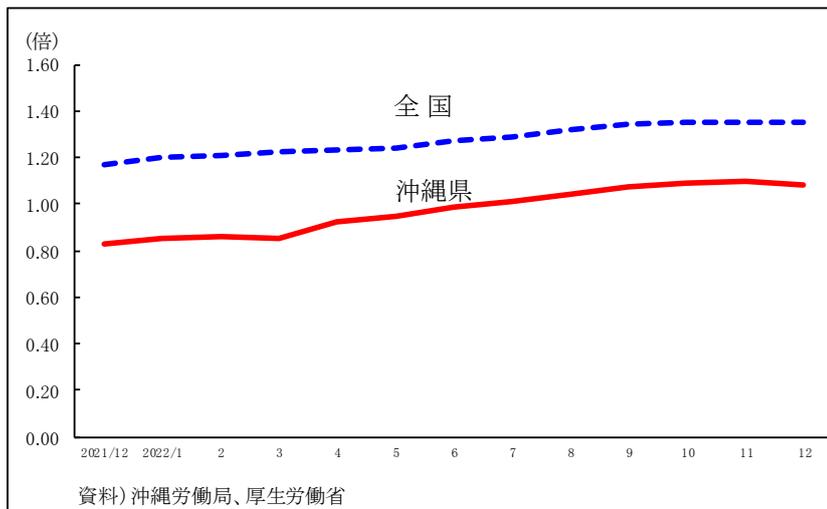


■雇用関連： (ふつう)

①【参考】有効求人倍率(12月)・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22
4	0.92	1.23
5	0.95	1.24
6	0.99	1.27
7	1.01	1.29
8	1.04	1.32
9	1.07	1.34
10	1.09	1.35
11	1.10	1.35
12	1.08	1.35



注) 季節調整済

注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

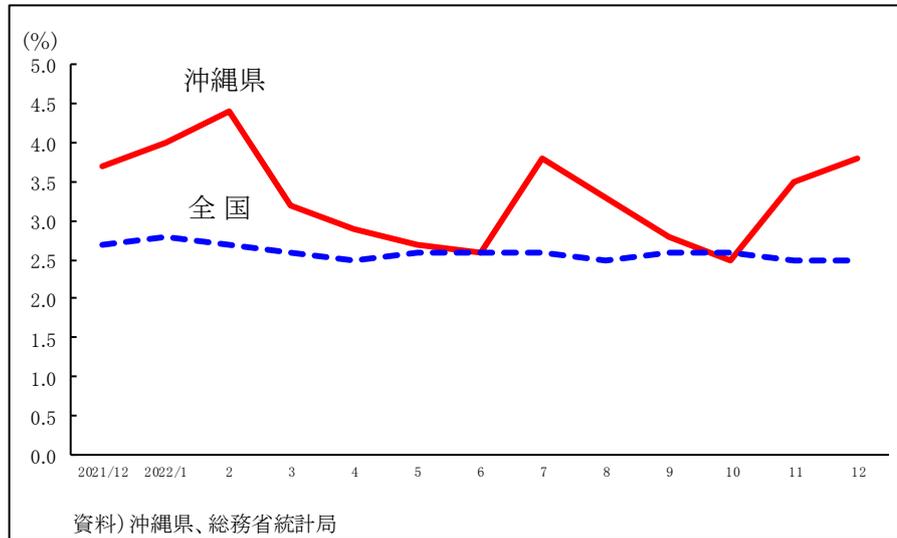
12月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.7%減の31,992人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.4%増の29,613人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.08倍と、前月より0.02ポイント低下となりました。

②【参考】完全失業率（12月）・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2021/12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6
4	2.9	2.5
5	2.7	2.6
6	2.6	2.6
7	3.8	2.6
8	3.3	2.5
9	2.8	2.6
10	2.5	2.6
11	3.5	2.5
12	3.8	2.5

注) 季節調整済



12月の完全失業率(季節調整値)は、3.8%となり前月より0.3ポイント上昇しました。